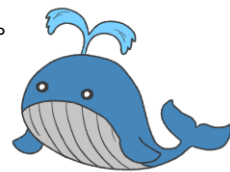


水中にすむ動物を仲間分けしてみよう

地球館の1階には、水中にすむ動物の剥製や骨格標本がたくさん展示されています。これらの動物は、どのような体のつくりをしているのでしょうか？また、どのように生活しているのでしょうか？

観察したり、資料で調べてみたりして、共通点や異なる点を探し、見つけた動物を仲間分けしてみましょう！



いろいろな動物
がいますね…。
どんなところに
注目して観察し
たらいいかな？



地球

館

1 階

6・7

光合成生態系・化学合成生態系



1

海にすむ動物たちの共通点



展示されている動物たちの体のつくりや移動の方法など、共通するの
はどんなところかな？

例えば、入って左側（海藻側）「光合成生態系：沿岸
の展示番号34「ショウジンガニ」と展示番号38「イセエビ」
物を自由を選んで共通する点を見つけてみよう。

標本付近だけでなく、ガラス
面や床面にも生物名の紹介が
あります。

- ・海底を移動する足、硬い殻（甲殻）、体色（赤色～橙色系）
- ・《足の数が多い》…ヤマトカラッパ、イソガニ、ヨツハモガニ、イシガニ、
イソスジエビ、マダコ、スルメイカ、ソデイカ
- ・《流線型の体型》…イルカ、ハチワレ、クロマグロ、キハダ、スルメイカ
- ・《足がある》…ラッコ、ゼニガタアザラシ、ウェッデルアザラシ



体のつくり

⇒ 共通点を探るところから、自然と相違点にも気付けると理想的です。

例）ショウジンガニとイセエビ

足の数、移動の向き、カニは挟む腕が大きい、エビは触角があるなど

地球

館

1 階

6・7

光合成生態系・化学合成生態系



2

海にすむ動物たちの異なる点



展示されている動物たちの体のつくりや移動の方法、食べているもの
など、異なっているのはどんなところかな？

【ジンベエザメ】（デンジクザメ目ジンベエザメ科）

最大全長約20m・体重約20t。プランクトン・小魚・海藻を口の中に吸い込み、
濾し取った生物を飲み込む。動きは緩慢。

【ハチワレ】（ネズミザメ目オナガザメ科）

最大全長約5m・体重約360kg。全長の約半分が尾鰭。尾鰭で海面を叩き、小魚
や頭足類、甲殻類を寄せ集め、群れと一気に捕食したり、マグロやサバなどを叩き、
弱らせてから捕食したりする。遊泳速度は速い。



天井

口などの大きさ・形、食べているものなども同じかな？

図鑑やイン
ターネットを
使って、もっ
と詳しく調
べてみると、
新しい発見が
あるかもしれ
んぞ！



同じフロアの
奥へ進もう



3

水中にすむいろいろな動物たち

天井から吊された動物の標本もあります。

展示されているものだけでも、たくさんの動物がいるね…
体が大きい動物と小さい動物や見た目が全然違う動物の間にも、共通点はあるのかな？



展示されている動物を3つ選んで、表にまとめてみよう！

※魚類や甲殻類だけでなく、哺乳類や爬虫類を選択しても良いと思います。

動物の名前 注目した点	シイラ	ミシシッピワニ	タラバガニ
体の表面	鱗	皮膚	甲羅
移動の方法	ひれ 鰭	足	足
口の位置	頭部の前方	頭部の前方	体の中心
呼吸の仕方	えら 鰓	肺	肺
食べているもの	イワシ、トビウオ イカ、甲殻類など	魚類、鳥類、小型 哺乳類、甲殻類など	多毛類、貝類、イカ、 甲殻類、魚類の遺骸、 プランクトンなど

※展示には説明がありません。学校や自宅で調べて、理解をより深めさせることをねらいとしています。



海にすむ動物たちを仲間分けできたかな？気付いたことをまとめてみよう！



感じたこと

わかったこと

考えたこと

【マダイ（スズキ目タイ科）の仲間】

- ・キンメダイ（キンメダイ目キンメダイ科）…赤色系の体表
- ・シイラ（スズキ目シイラ科）、ヨシキリザメ…尾鰭の形

【スルメイカの仲間】（ツツイカ目アカイカ科）

- ・ケンサキイカ（閉眼目ヤリイカ科）、コウイカ（コウイカ目コウイカ科）…足の数と同じ
- ・マダコ、オウムガイ…足の数（多いという点で）

【ジュゴンの仲間】

- ・ハセイルカ、ミンククジラ（、ヒラメ、マガレイ）…尾を上下方向に動かして泳ぐ
- ※ヒラメやマガレイは成長の過程で扁平化するので、厳密には「上下」方向と言い切れない。

⇒ 体のつくりや生活場所、子の生まれ方など、「ある特徴に注目すると動物を仲間分け（分類）できる」ことを見いだして理解させることをねらいとしています。



新たな疑問

もっと知りたくなったこと

学習指導要領「いろいろな生物とその共通点」の中に、いろいろな生物を比較して見いだした共通点や相違点を基にして分類できることを理解するとともに、分類の仕方の基礎を身に付ける学習があります。分類したり、表にまとめたりする学習を、展示物の生物の外部形態をもとに観察させたいです。また、海にすむ動物の観察は普段はなかなかできないので、このような展示物を利用しながら、海で生活する生物の多様性にも気付かせたいものです。

年

組

番

氏名